

火災予防への取り組み事例 - 火気事故からの教訓を伝え続ける - 1/2

背景：火気事故災害は、お客様に対する納期遅れを発生させるだけでなく、企業経営存続に関わる重大災害である。発生原因の多くは、3S不足や日常点検の不備から起きている。

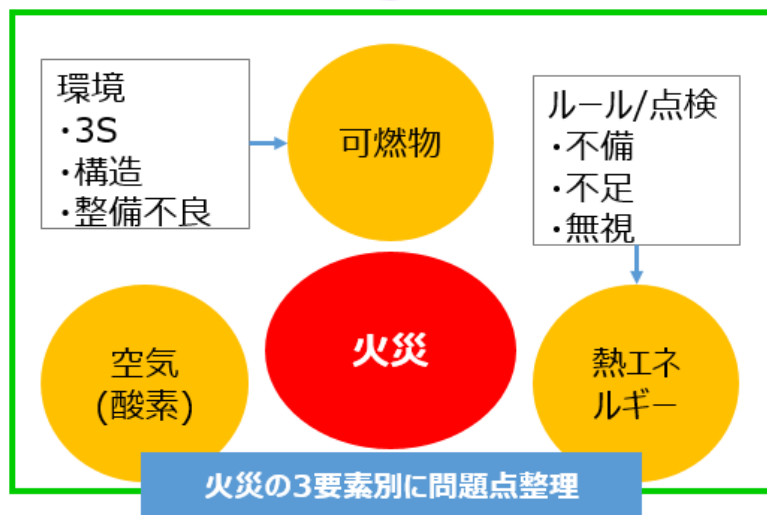
目的：火気事故を二度と起こさない

- ①風化させず、教訓を誰もが振り返られる様にする。
- ②日々の安全活動計画に盛り込み、継続的に活動できるしくみへ落とし込む。

具体的方策：

次の手順に従い、防火の歯止めを継続する仕組みへ

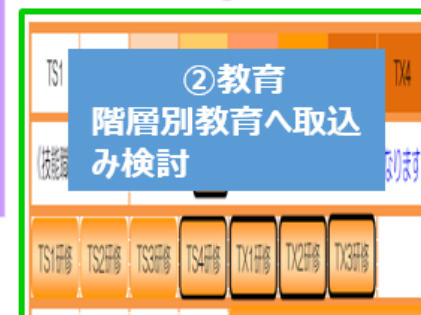
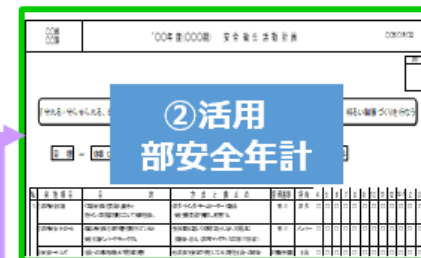
過去の火気事故報告書 ・ポイント抽出/現状確認



①火気事象集としてまとめDB上で開示

NO.	1	工程行動	塗装 アース点検	事象名	〇〇工場 ブース火災 (発生時期) : 〇〇〇〇年〇月	火気事故事例 発行部署 〇〇部 発行日
推定原因				設備	塗装自動機	
教訓	禁止事項や点検の重要性など					
【概要】						
【被害状況】	損失レベル、公設消防対応状況					
【発生状況図】	状況図や写真					
【対策】	発生時の対策決定事項や禁止事項					
【歯止め】	年間計画等への落とし込み					

情報開示先
国内：社内全員、関連企業 **社
海外：生産拠点 **拠点



火災予防への取り組み事例 - 火気事故からの教訓を伝え続ける（事例） - 2/2

①風化させない：火気事象集としてまとめDB上で開示

NO.	1	工程 塗装	事象名 塗装工場で塗りアース火災	火気事故事例
行動	アース点検	発生時期	1986年9月	発行部局 〇〇部
推定原因	溶剤ガスが充満したところにスパーク（アース線切れ）発生		設備 レスプロ自動車	発行日
教訓	①ガン周りを回らない(溶剤ガスを溜めない) ②アース線点検の重要性			
【概要】	<p>ガン周りの清掃を楽にしようとタックラグ(粘着布)を巻いた。そこに、塗料漏れがシンナー漏れが発生し、タックラグ内に溶剤ガスが充満してガン周りでスパークが起き、発火したと思われる。スパークの原因はガン側のアース線が短く切れたと考えられる。</p>			
【被害状況】	上塗りアース、建屋1部焼損			
【発生状況図】				
【対策】	<p>1、ガン周りを風船みたいな養生はしない。 1) 塗料漏れ・シンナー漏れ等発見しづらい。 2) 溶剤ガスの温床になる。</p> <p>2、アース線は可動領域より長く・配策は適正に又、常点検実施。</p>			
【図止め】	<p>防火パトロール・アース点検 (a) アースマップチェックシート (b)</p> <p>地区安全衛生防災管理計画 → 塗装課安全衛生防災管理計画 → チェックシートにて点検 (1回/月)</p> <p>安健へ報告書提出 → 地区報にて情報開示</p> <p>パトロール実施報告書 (c)</p>			

②しくみへの落とし込み：活用(安全年間計画/実施報告)

◇毎日 ○定期 △都度 ○〇期 安全衛生防災管理計画表

会議	防火パトロール・アース点検	〇〇年5月	〇〇年6月
訓練指導	防火パトロール・アース点検	〇	〇
活動	防火パトロール・アース点検	〇	〇
評価	安全	+	+

上塗り工程アースマップチェックシート

No	名称	判定	No	名称	判定	No	名称	判定
①	内線ロッド1	○	④	接地線	○	⑦	接地線	○
②	内線ロッド2	○	⑤	接地線	○	⑧	接地線	○
③	内線ロッド3	○	⑥	接地線	○	⑨	接地線	○

パトロール実施報告書

報告・通知・決議	防火パトロール実施報告	様式 (第-西)	
1	日時 〇〇年〇月〇日 時 分		
2	実施内容 各アースと消火設備パトロール		
工程	担当名	指播内容	点数
少量危険物庫	〇〇	無し	100

35年前の教訓より、防火パトロール・アース点検が実施される仕組みへ落とし込み、活動を継続的に行っている